**論文を投稿するにあたり、下記の各項目をチェックし、著者チェック欄に「○」印を記入して下さい。**

記 入 日：　　　年　　月　　日（西暦）

タイトル：

筆頭著者氏名：

**【全般】** レフリーは、不適切と思われる項目欄に「○」印を記入して下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 著者  チェック |  | レフリー  チェック |
| 1 |  | 論文の種類を明記している（｢原著｣、｢短報｣、｢報告｣、「症例報告」など）。 |  |
| 2 |  | 共同研究者および指導者の校閲を受けている。 |  |
| 3 |  | 論文の形式、長さは、投稿規定に準拠している。 |  |
| 4 |  | 論文に曖昧な表現は使用していない。  過去形、文語体で記述している。 |  |
| 5 |  | 序文、方法、結果、考察は明確に区分されている。  （結果に方法や考察を、考察で方法を述べていない。） |  |
| 6 |  | タイトル（メイン・サブ）、キーワード、図表タイトルおよび図表中では、  抗菌薬名は一般名で記載し、商品名は使用していない。  また、施設名は「当施設」、「当院」などとしている。 |  |
| 7 |  | 略号、省略形を使用した場合は最初は「full spell（略号、省略形）」となっている。 |  |
| 8 |  | 菌種名等の表記は投稿規定に準拠して学名としている。  英文・和文のどちらかに統一し、英文表記は初出時にfull spellとし、以後は略表記している。 |  |
| 9 |  | 本文末尾に利益相反について記載している。  1）自己申告すべき内容がない場合は、論文の末尾に、「利益相反自己申告：申告すべきものなし」と記載する。  2）自己申告すべき内容がある場合は、論文の末尾に以下の記載例の如く記載する。（執筆者の記載例）  著者AはX株式会社から資金援助を受けている。  著者BはX株式会社の社員である。  著者CはY株式会社の顧問である。 |  |
| 10 |  | 投稿規定の「倫理規定について」に基づき、必要に応じて倫理委員会、動物委員会、遺伝子組み換え実験安全委員会、病原体等安全管理委員会等の承認を得ている（本文中に承認番号を記載することが必要）。 |  |
| 11 |  | 本文には、表紙を1ページとしたページ番号と、行番号（第1ページからの通し番号）を表示している。 |  |
| 12 |  | ファイル名は必ず英文とし、アプリケーションはMicrosoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPointを推奨する。 |  |

**【タイトル】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 著者  チェック |  | レフリー  チェック |
| 13 |  | タイトルは論文の主題を的確に表している（｢○についての研究｣「清拭タオルの微生物管理」のような漠然としたタイトルは不適である）。 |  |
| 14 |  | タイトルは短く簡潔にしている。 |  |

**【要　旨】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 著者  チェック |  | レフリー  チェック |
| 15 |  | 主要な所見と結論を述べており、論文の概要を示している。 |  |
| 16 |  | 投稿論文の新規性、独創性、意義、特徴が掲載に値することがわかるように記載している。 |  |
| 17 |  | 本文と違う、または誇張した表現はしていない。 |  |
| 18 |  | 英文タイトル及び英文抄録はネイティブチェックを受ける。 |  |

**【キーワード】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 著者  チェック |  | レフリー  チェック |
| 19 |  | キーワードは用語集(学会ホームページに掲載)から使用し、新たな用語はレフリーに判るようにしている。 |  |

**【序　文】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 著者  チェック |  | レフリー  チェック |
| 20 |  | 研究の背景となる既存情報と研究内容の関係および意義等を簡潔・明瞭に述べており、かつ一般論を冗長に述べていない。 |  |

**【方　法】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 著者  チェック |  | レフリー  チェック |
| 21 |  | 読者が追試を行えるよう具体的に方法を記述している（一般的な方法であれば出典を明記し、記述を省略している）。 |  |

**【結　果】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 著者  チェック |  | レフリー  チェック |
| 22 |  | 客観的に事実のみを記載している。 |  |
| 23 |  | 方法と結果を順序立て、明確に対応させている。 |  |
| 24 |  | 方法に記載されていない項目を結果に述べていない。 |  |
| 25 |  | 抗菌薬感受性成績は、MIC を明記している。原則として判定基準がない抗菌薬に対して“感性”、“耐性”と表記していない。 |  |
| 26 |  | 図表は著者の主張が容易に理解でき、かつ日本環境感染学会誌に掲載できるよう明瞭に作製している。 |  |
| 27 |  | 学会発表に用いた図表をそのまま原稿とせず、論文の図表として作製している。  また、必要のない立体的表現や必要のないカラーを使用していない。 |  |
| 28 |  | 図表で示した数値すべてを文章中に記述するようなことはしていない。 |  |
| 29 |  | 図表に示したデータから、主張すべきポイントや特徴的な現象を簡潔・明瞭に示している。 |  |
| 30 |  | 図表には、それだけで内容の理解が得られるよう説明、脚注をつけている。 |  |
| 31 |  | 表で記述できる成績は図にしていない。  数行ですむ成績は表にせず本文中に記述している。 |  |
| 32 |  | 図表および本文の数値計算は十分に確認し、誤りがない。  有効数字､小数点以下の桁数などは揃えてある｡ |  |

**【考　察】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 著者  チェック |  | レフリー  チェック |
| 33 |  | 結果を繰り返し述べていない。 |  |
| 34 |  | 研究の目的と結果に直接関係のある部分に限定している。 |  |
| 35 |  | 得られた結果に対して考察しており、一般論、レビューを冗長に述べていない。 |  |
| 36 |  | 科学的根拠がない事象に対して飛躍した考察をしていない。 |  |
| 37 |  | 既出の関連論文、既知の事実と比較して考察している。 |  |

**【引用文献】**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 著者  チェック |  | レフリー  チェック |
| 38 |  | 文献は原則的に学術誌を引用しており、商業誌の引用は避けている。 |  |
| 39 |  | インターネット掲載文献の引用はＵＲＬを記載する。 |  |